

令和元年度に実施した主な事業

・ふるさと応援寄附金事業	7 億 9371 万円
・市町村道整備事業	2 億 6222 万円
・汚泥再生処理センター管理事業	1 億 9365 万円
・こども医療費支援事業	1 億 4755 万円
・林業・木材産業成長化促進対策 交付金事業補助金	1 億 3730 万円
・甘木地区中心市街地整備事業（第2期）	1 億 29 万円
・健康福祉館管理運営事業	9997 万円
・学童保育所建設事業	8952 万円
・県営土地改良事業負担金	8575 万円



※災害関連事業の決算額は、114 億 8268 万円（平成 30 年度は 123 億 5158 万円）となりました。主なものは次のとおりです。

・道路橋りょう・河川災害復旧事業	31 億 4470 万円
・農地・農業用施設・林道災害復旧事業	25 億 1091 万円
・災害公営住宅建設事業	8 億 1649 万円
・災害等廃棄物処理事業	8 億 1145 万円
・堆積土砂排除事業	6 億 7293 万円
・農地改良復旧事業	2 億 2595 万円



用語説明

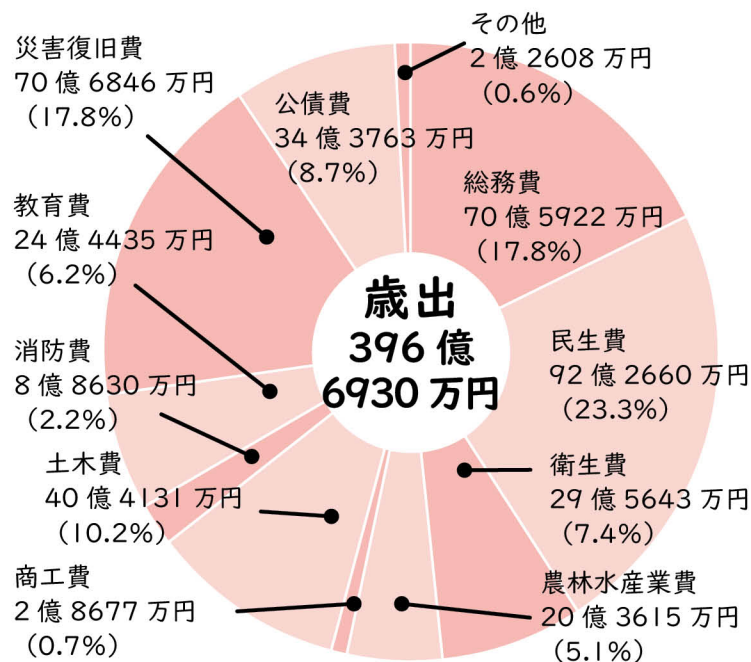
【歳入】

市税…市民税や固定資産税、軽自動車税など
分担金・負担金…受益者の負担金。主に保育料など
使用料・手数料…施設の使用料など
諸収入…各種貸付の元利償還金、延滞金などの徴収金
地方交付税…国税として徴収した所得税・法人税・酒税などの一定割合を、市の財政状況に応じて配分する
国庫支出金・県支出金…国の委託や市の事業に対して、国や県から交付される補助金・負担金・委託金など
市債…公共事業の資金調達のための借入金
自主財源その他…寄付金・繰入金、繰越金、財産収入
依存財源その他…地方消費税交付金、地方譲与税、自動車取得税交付金、自動車税環境性能割交付金、ゴルフ場利用税交付金、交通安全対策交付金、地方特例交付金など

【歳出】

総務費…市の全般的な管理事務経費で、戸籍・統計・選挙・徴税費や職員給など
民生費…安定した社会生活を保障するための経費で、児童福祉・老人福祉・生活保護・その他社会福祉費など
衛生費…ごみ・し尿の処理や生活排水や公害対策、健康管理・予防のための経費
農林水産業費…農林業振興のための支援や生産基盤整備などの経費
商工費…商店街振興や企業誘致、観光振興事業を行うための経費
土木費…道路・河川・公園や市営住宅などの整備と維持管理のための経費
消防費…防災事業、広域消防、消防団運営などの経費
教育費…小中学校の増改築や生涯学習事業、市民センターなどの管理、文化財保護などの経費
災害復旧費…被災した農業施設、道路、河川、公園や市営住宅などを復旧するための経費
公債費…借り入れた市債の元利償還金など
その他…議会費・労働費

1 - 2 歳 出



●合併特例事業債の状況

令和元年度合併特例債事業は次のとおりです。
合併特例債とは、新市建設計画に位置づけられた事業経費に対して、合併特例債を充当(95%)することができ、その償還金の 70% が普通交付税に措置される有利な借金です。

令和元年度事業内訳		起債額
道路改良事業（小限・BS 西側線ほか 9 件）		8,900
小中学校整備事業（秋月小防火シャッター設置ほか 17 件）		6,690
庁舎建設事業		5,545
学童保育所整備事業（立石IV学童建設事業ほか 6 件）		4,370
健康福祉館改修事業		2,670
文化施設改修事業（大ホール舞台屋根防水工事ほか 6 件）		1,210
議会中継システム整備ほか 14 件		8,935
計		38,320

1 令和元年度決算 一般会計

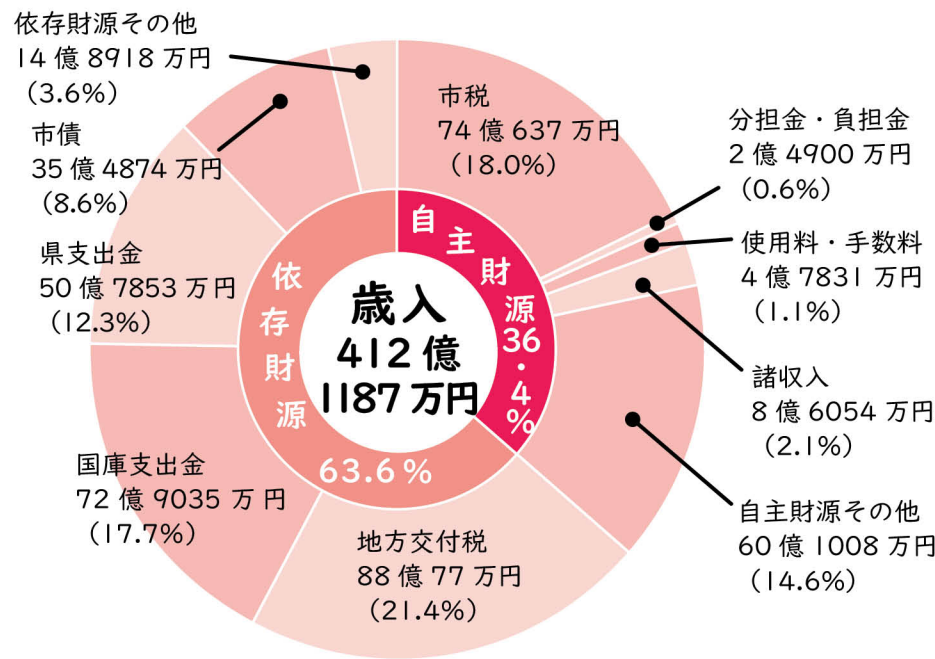
●歳入・歳出ともに増加

一般会計の歳入総額は 412 億 1187 万円（前年度比 0.6%増加）、歳出総額は 396 億 6930 万円（前年度比 2.6%増加）、差し引き 15 億 4257 万円の収支となりました。歳入・歳出ともに災害の影響により、平成 30 年度に引き続き大きな決算額となりました。市の歳入の中心となる市税は 74 億 637 万円で、歳入全体の 18%でした。これを市民一人当たりで計算すると、14 万 985 円の負担となります（令和 2 年 3 月 31 日現在の人口 5 万 2533 人で計算）。

●市債（市の借金）の現在高も微増

一般会計の市債の現在高は、令和元年度末現在で約 314 億 5770 万円（前年度比 0.9%増）です（参考：平成 30 年度末 311 億 9030 万円）。このうち約 8 割が、国から交付される地方交付税などで手当てされます。

1 - 1 歳 入



●入湯税の使途状況

入湯税は、環境衛生施設、鉱泉源の保護管理施設、観光施設、消防施設などの整備や、観光振興の費用に充てるために設けられた目的税で、鉱泉浴場の入湯行為に対してかかるものです。
令和元年度の入湯税の決算額は 2567 万円で、表に記載した事業の財源の一部に充てられています。

●消費税の使途状況

消費税は、平成 26 年 4 月、令和元年 10 月に段階的に引き上げとなり、5% から 10% になりました。
引き上げ分の令和元年度地方消費税収は 3 億 8452 万円で、全額が表に記載した社会保障施策の財源に充てられています。

事業内容	事業費と内訳（単位：万円）			
	事業費	入湯税	その他	一般財源
観光振興	5,439	2,500	1,980	959
観光施設の整備 ハード事業	121	67	0	54
合計	5,560	2,567	1,980	1,013

事業内容	事業費と内訳（単位：万円）			
	事業費	消費税	その他	一般財源
社会福祉（生活保護・児童福祉・母子福祉など）	579,393	16,373	368,450	194,570
社会保険（国民健康保険・介護保険・年金など）	280,717	18,210	46,104	216,403
保健衛生（医療施策・感染症等の予防対策など）	78,078	3,869	28,228	45,981
合計	938,188	38,452	442,782	456,954

市の財政状況を知ってもらうため、毎年、決算と予算の執行状況を公表しています。皆さんが納めた税金、国や県の補助金などがいくら入り、それがどのように使われたのかお知らせします。

市の令和元年度決算・令和2年度予算の執行状況

問 市総務財政課 (2817598)

4 令和2年度予算の執行状況

●令和2年度一般会計の執行状況（4月～9月）

【歳入】 (単位：万円、収入率は%)			
区分	予算額	収入済額	収入率
地方税	717,687	368,920	51.4
分担金・負担金	32,758	5,202	15.9
使用料・手数料	46,545	17,348	37.3
諸収入	39,524	14,543	36.8
自主財源その他	796,787	225,190	28.3
地方交付税	675,000	452,819	67.1
国庫支出金	1,615,456	656,840	40.7
県支出金	1,289,399	45,575	3.5
市債	585,361	0	0.0
依存財源その他	176,993	87,367	49.4
合計	5,975,510	1,873,804	31.4

【歳出】 (単位：万円、執行率は%)			
区分	予算額	執行額	執行率
総務費	1,154,156	705,893	61.2
民生費	1,013,377	360,070	35.5
衛生費	248,026	92,492	37.3
農林水産業費	283,732	56,337	19.9
土木費	393,792	128,946	32.7
消防費	94,358	40,040	42.4
教育費	359,285	83,184	23.2
公債費	404,975	149,485	36.9
その他	2,023,809	186,275	9.2
合計	5,975,510	1,802,722	30.2

●令和2年度特別会計の執行状況（4月～9月）

(単位：万円、収入率・執行率は%)					
特別会計名		予算額	収入済額	収入率	支出済額 執行率
住宅新築資金等貸付		684	348	50.9	25 3.7
簡易水道		479	81	16.9	126 26.3
国民健康保険	事業勘定	726,186	259,783	35.8	247,569 34.1
	直営診療施設勘定	31,403	10,968	34.9	10,900 34.7
後期高齢者医療		94,631	29,890	31.6	26,609 28.1
介護保険		619,913	250,397	40.4	236,991 38.2
工業用地造成事業		68	0	0.0	9 13.2

●市有財産の状況(9月30日現在)

(単位：円、土地・建物は㎡)		
区分	行政財産	普通財産
土地	5,048,635.75	206,194.29
(うち山林)	2,104,955.00	80,890.31
建物	275,869.34	3,010.54
有価証券	108,026,000	
出資金	1,023,970,000	
債権	274,438,559	
基金	17,883,556,531	

●令和2年度企業会計の収支状況(4月～9月)

(単位：万円、執行率は%)					
会計名	区分	予算額	済額	執行率	
上水道事業	収益的収支	収入	63,695	24,587	38.6
		支出	61,509	15,030	24.4
	資本的収支	収入	17,944	0	0.0
		支出	29,861	7,889	26.4
工業用水道事業	収益的収支	収入	15,544	6,643	42.7
		支出	11,105	3,836	34.5
	資本的収支	収入	45,325	5,224	11.5
		支出	51,854	10,781	20.8
下水道事業	収益的収支	収入	211,261	35,218	16.7
		支出	208,973	41,869	20.0
	資本的収支	収入	161,932	6,108	3.8
		支出	224,566	45,215	20.1

2 令和元年度決算 特別会計・企業会計

特別会計とは、特定の事業に係る人に経費を負担してもらうため、一般会計とは別に経理する会計のことです。
また、市が行う水道・下水道事業経理は、独立採算をとる企業会計を設けています。

●特別会計決算と市債の状況

(単位：万円)				
特別会計名		歳入額	歳出額	差引 市債現在高
住宅新築資金等貸付		652	652	0 156
簡易水道		628	628	0 0
国民健康保険	事業勘定	699,023	699,258	-235 0
	直営診療施設勘定	29,413	28,681	732 0
後期高齢者医療		92,807	90,108	2,699 0
介護保険		589,919	578,344	11,575 0
工業用地造成事業		44	44	0 0

※国民健康保険特別会計(事業勘定)においては、赤字のため、翌年度歳入を繰り上げて当年度歳入に充てる繰上充用を行っています。

●企業会計決算と企業債の状況

(単位：万円)					
会計名	収益的収支		資本的収支		企業債現在高
	収入額	支出額	収入額	支出額	
水道事業	62,073	49,191	6,918	18,896	186,441
工業用水道事業	14,726	11,498	10,787	21,574	51,120
下水道事業	224,233	198,700	110,228	183,304	1,422,473



3 財政状況(健全化判断比率と資金不足比率)

●健全化判断比率

健全化判断比率とは、実質赤字比率・連結実質赤字比率・実質公債費比率・将来負担比率の4つの指標をいいます。

これらの4指標には早期健全化基準と財政再生基準が設けられており、この基準を超えると、財政健全化団体、財政再生団体と判断され、財政指標を改善するための計画を策定しなければなりません。朝倉市(令和元年度)はどの比率も基準を下回っています。

項目	①実質赤字比率	②連結実質赤字比率	③実質公債費比率	④将来負担比率
令和元年度朝倉市の比率	赤字比率は生じていません		8.8%	-
早期健全化基準	12.79%	17.79%	25.0%	350.0%
財政再生基準	20.00%	30.00%	35.0%	

用語説明

【実質赤字比率】一般会計などの赤字の程度を示した比率

【連結実質赤字比率】朝倉市の全会計を含めた赤字の程度を示した比率

【実質公債費比率】財政規模に占める単年度の借金返済の割合を示した比率

【将来負担比率】第三セクターなども含めた今後返済すべき借金の一般会計等の負担の割合を示した比率

●資金不足比率

資金不足比率とは、公営企業の赤字の割合を特別会計・企業会計ごとに示したものです。黒字の場合は表れません。したがって、朝倉市の公営企業はすべて赤字がなく資金不足はありません。また、資金不足比率には経営健全化基準が定められており、20%を超えると経営改善が必要と判断され、健全化計画を策定しなければなりません。

会計名	資金不足比率
簡易水道事業特別会計	-
工業用地造成事業特別会計	-
水道事業会計	-
工業用水道事業会計	-
下水道事業会計	-

▲市の公営企業は資金不足がないため、比率がありません



令和3年度

保育所(園)・認定こども園

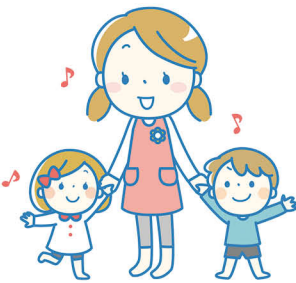
入所申込が始まります

保育所(園)・認定こども園(保育所部門)は、保護者が就労や病気などの理由により家庭で保育できない就学前の児童を預かり、保育する施設です。

入所申込は、次のとおりです。

■申込期間：11月2日(月)～30日(月)の平日8時30分～17時15分

- 入所(園)基準…次のような場合に入所(園)できます。
- ①父母などが仕事をしている
 - ②母が妊娠中または産後間もない
 - ③父母などに疾病や障がいがある
 - ④父母などが、親族の介護・看護をしている
 - ⑤その他の理由で、子どもを家庭で保育できない



令和3年度

幼稚園

入園児を募集

入園申込は、各幼稚園で受け付けます。見学はいつでもできます。

※認定こども園(幼稚園部門)の申込は上記(注2)を確認してください。

■申込期間：11月2日(月)～

【共通事項】次は3園とも対応可能。

3歳児保育、延長保育、長期休暇保育

問 市教育課学校教育係(☎22242333)

保育所(園)名	住所	電話番号
公立保育所(注1)		
秋月・安川統合保育所(仮称)	千手 793-1	22-4427
福田保育所	小隈 277-1	22-4419
蛭城保育所	林田 244	22-3991
黄金川保育所	屋永 3277-1	22-4136
三奈木保育所	三奈木 4592	22-2039
杷木保育所	杷木林田 443	63-3557
久喜宮保育所	杷木久喜宮 856-7	62-0309
志和保育所	杷木志波 4929-24	62-2580
私立保育所		
立石保育園	頓田 205-8	22-2241
真愛保育園	甘木 1625-1	22-2830
生い立つ保育園	菩提寺 606-1	24-5203
馬田保育園	馬田 1177-1	22-6222
青梅保育園	柿原 843-1	23-0333
ひろにわ保育所	入地 2607-1	52-3222
私立認定こども園(注2)		
甘木双葉幼稚園	下浦 522	23-8236
大福幼稚園	大庭 3662-1	52-2504
どれみ保育園	杷木池田 786-1	62-3577

(注1)松末保育所は、令和3年度は休所のため受付できません。
(注2)私立認定こども園(保育所部門)に入園希望の場合は、子ども未来課保育所係または朝倉・杷木支所市民窓口係に申込書を提出。
また、幼稚園部門に入園希望の場合は、希望する施設に直接相談してください。

問 市子ども未来課保育所係(☎287566)



幼稚園名	住所	定員	電話番号
甘木幼稚園	甘木 944-37	180人	22-2439
甘木聖和幼稚園	甘木 1861	25人	22-3400
宮野幼稚園	須川 3259-1	80人	52-2500

※途中入園は、随時、各園で行っています。
各園では、他にもさまざまな取組が行われています。詳しくは、各幼稚園にお問い合わせください。

令和3年度

学童保育所

入所児童を募集

学童保育所は、仕事などの都合で帰宅が遅くなる保護者に代わり、放課後に児童を保育することで、親の就労を助け、子どもの放課後の生活を安全に保つことを目的としています。

学童保育所は、各保護者会などが運営しており、遊びや勉強など子どもたちを見守る支援員がいます。

各学童保育所で入所説明会が行われます。詳しくは、各学童保育所にお問い合わせください。

■対象：小学校新1年生～新6年生(令和3年4月時点)

■申込期間：各学童保育所入所説明会終了後～12月18日(金)(※期限厳守)

■申込先：各学童保育所

問 市子ども未来課(☎287566)

【学童保育所 入所説明会日程一覧】

学童保育所名	期日	時間	場所	問い合わせ先
秋月学童保育所(秋月小学校内)	11月17日(火)	19時00分～	秋月学童保育所	25-1777
甘木学童保育所(甘木小学校敷地内)	11月15日(日)	10時30分～	甘木学童保育所	24-7020
甘木II学童保育所(甘木小学校敷地内)				28-8550
わかば学童保育所(真愛保育園内)	12月4日(金)	18時00分～	真愛保育園2階ホール	080-8362-1289 または 22-2830
立石学童保育所(立石小学校敷地内)	11月15日(日)	10時30分～	立石小学校体育館	24-8592
立石II・III学童保育所(立石小学校敷地外)				21-1080
立石IV学童保育所(立石小学校敷地内)				28-8208
馬田学童保育所(馬田小学校横)	11月28日(土)	19時00分～	馬田学童保育所	23-0596
福田学童保育所(福田小学校敷地内)	11月21日(土)	18時30分～	福田学童保育所	22-6714
蛭城学童保育所(蛭城小学校敷地内)	12月4日(金)	19時30分～	蛭城コミュニティセンター	22-3004
金川学童保育所(金川コミュニティセンター敷地内)	11月20日(金)	19時30分～	金川学童保育所	22-5160
三奈木学童保育所(三奈木小学校敷地内)	11月15日(日)	10時30分～	三奈木学童保育所	21-0755
朝倉東学童保育所(朝倉東小学校敷地内)	11月15日(日)	10時00分～	朝倉東学童保育所	52-0901
大福学童保育所(大福小学校敷地内)	11月27日(金)	18時30分～	大福学童保育所	52-0946
杷木学童保育所(杷木小学校内)	11月27日(金)	19時00分～	杷木学童保育所	62-1151